

## 笑1-1 地域福祉の推進

### 施策の目標

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域で支えあう福祉のまちの実現をめざします。

### 現状と課題

少子高齢化や核家族化、単身世帯や高齢者世帯の増加などが進む中、地域における近隣関係が希薄化し、地域での支え合いも弱まるなど、市民を取り巻く環境・状況が変化しています。

西東京市では、これまで地域福祉計画に基づく福祉サービスを進めてきましたが、多くの課題を抱えており、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、行政だけでなく地域を皆で支えるための、福祉体制の充実が必要となっています。

一方、これまで地域を支えてきたコミュニティなどでは、担い手不足が問題となっており、福祉人材の育成や地域における福祉コミュニティの再構築などが課題となっています。

#### ●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆市民との協働によるまちづくり
- ◆地域コミュニティの再構築による地域福祉の充実
- ◆福祉に関するだれにとっても便利な情報の提供
- ◆地域で支え合うための体制づくり

#### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 笑1-1-1 地域福祉の関係機関や団体・地域との連携を強化します

だれもが地域で安心して暮らすためには、多様な福祉ニーズに対応した、質の高いサービスの提供が必要です。

地域福祉の充実のため、地域と市、社会福祉協議会・民生委員・児童委員・NPO・ボランティアなどが相互に連携し、地域コミュニティ活動の活性化による地域福祉が推進できるしくみづくりを進め、市民同士が地域でのつながりをつくりながら、支え合う意識が向上できる取組を進めます。

また、一体的な連携を図る中で福祉ニーズの把握に努め、必要な情報を正確に提供でき、利用者がより良い福祉サービスを選択し、容易に情報を得ることのできるしくみづくりを進めます。

地域のつながりを深める支援を進めることは、災害時の支援や防犯対策、地域の課題の解決などにもつながります。

### 笑1-1-2 地域の特性を生かしたコミュニケーションの場の創出します

気軽にだれかと話をしたり、家から外出してくつろげる場所があれば、地域の中から孤立することはありません。

地域に存在する福祉拠点などを有効に活用して、だれでも気軽に集えて、世代を超えた交流の場づくりを進めます。

また、場の提供と併せて、コミュニケーションを取りながら、趣味を通じた交流の機会を創出するなど、地域の利用者の実情に合わせた工夫をしつつ、利用しやすい機能についても、検討を進めます。

#### ●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

### 笑1-1-3 地域福祉を支える人材育成を進めます

多様化する福祉ニーズにこたえるためには、行政だけでは補いきれない状況が生じています。地域の福祉活動を進めるには、それぞれの地域の中で市民やNPO・団体などが連携して福祉を支える体制づくりを進めるとともに、地域福祉の担い手となる人材の確保が必要です。

地域福祉を支えるボランティアや人材の確保、育成のためには、多くの市民が関心を持ち、気軽に活動に参加できる機運をつくり出すことや学校などでの福祉教育、市民を対象とした体験ボランティアの充実などを進める必要があります。

## 笑1-2 高齢者福祉の充実

### 施策の目標

高齢者がいきいきと安心して暮らせるよう、市民と協働して、高齢者の生活を支えるしくみの実現をめざします。

### 現状と課題

西東京市では、高齢化率が20%を超え、5人に1人が65歳以上の高齢者となる中、高齢者の健康づくりや介護予防などへの支援、在宅高齢者を支えるサービスの充実、ささえあいネットワークによる高齢者の見守り、関係団体との連携など、さまざまな高齢者福祉の充実に取り組んできました。

また、市内8か所の地域包括支援センターでは、介護相談や虐待防止、介護予防などの支援とともに、地域包括ケア会議などを活用して、地域のニーズの発見や課題の整理などを行い、さまざまな社会資源と地域住民とのネットワークの構築を進めてきました。

今後は、住み慣れた地域での暮らしを支えるための介護予防の促進や高齢者とその家族の孤立化を防止するしくみづくりなど、利用者の視点に立ったサービスの提供が課題です。

また、今までの福祉サービスでは補えない多様なニーズへの対応、地域で助け合い、支え合う意識の醸成、増大が予想される認知症高齢者に対する支援の強化・充実が課題です。

●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆利用者の視点に立ったサービスの実現
- ◆住み慣れた暮らしを支えるしくみの実現（地域での互助）
- ◆高齢者の孤立化の防止
- ◆健康づくりや介護予防の充実
- ◆介護予防の意識普及啓発の促進

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 笑1-2-1 地域で高齢者を支える互助のしくみづくりを推進します

高齢化が進展し、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯が急増する中、高齢者の孤立化への対応や身近な生活への支援など、さまざまな課題が生じています。

高齢者の暮らしを見守り、支えるためには、地域においてお互いが助け合い、支え合うことのできるしくみづくりや多様化するニーズの把握やその対応が必要です。

自助・互助・共助・公助の考え方を基本に、市民やNPO・団体、事業者と連携して、地域の力を活かした支え合いの取組を進めます。

また、高齢者が地域でできるだけ自立した生活をおくるための配食サービスなど、介護保険外の福祉サービスの充実にも取り組みます。

●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

### 笑1-2-3 認知症高齢者とその家族への支援の充実を図ります

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増大が予想されています。高齢者が認知症になっても安心して暮らすことができ、地域の一員である実感できる取組が必要となっています。

これまで市は、若い世代も含めた認知症サポーター養成講座を開催するなど、認知症対策に取り組んできましたが、引き続き認知症の予防とケアのあり方などの普及啓発や早期発見・早期対応に取り組んでいきます。

また、介護を負担に感じたり、孤立感を味わうことがないように、介護者同士の交流・情報提供や研修会の開催などを通じた取組を進めます。

### 笑1-2-2 介護サービスの充実と介護予防を図ります

高齢者がいつまでも元気で介護のいらぬ自立した生活を続けることで地域の元気の向上につながります。健康な暮らしの実現のため、介護予防・介護相談や、要介護・要支援が必要となった高齢者も、在宅で、あるいは必要となる施設で状況に応じた質の高いサービスが受けられる環境づくりを進め、社会福祉法人やNPO・団体、民間事業者と連携した施設整備を促進します。

また、介護予防への関心を高め、市民の自主的な取組を進めるために、意識啓発や情報提供を充実させていきます。

### 笑 1-3 障害者福祉の充実

#### 施策の目標

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、自立した生活をおくることができるまちをめざします。

#### 現状と課題

障害者基本法の改正や障害者自立支援法の施行により、障害者の自立と社会参加の促進が求められるなど、障害者を取り巻く環境は大きく変化しています。発達障害や高次脳機能障害などの障害者も増加しております。また、平成 25 年 4 月の障害者総合支援法の施行に伴い、難病者が障害者に含まれることとなります。

西東京市では、市内に居住する障害者の自立と社会参加を促進するとともに、地域での生活支援の活動を強化・充実するために障害者総合支援センターを整備し、サービスの強化・充実を図ってきました。

今後は、市民や関係団体と協働し、一人ひとりのニーズとライフステージに応じた障害者福祉施策の充実を図ることや、障害者に対する市民の理解を高める教育や情報提供、障害者(児)を抱える家族の孤立化防止の支援、機能訓練・生活訓練の充実、受け皿の整備、就労の場を増やすための支援体制などを一体的に進めることが課題です。

●市のデータ(図・表)、写真

※必要に応じて掲載

#### 施策推進のためのキーワード

- ◆相談支援体制の充実
- ◆地域生活への移行支援
- ◆市民や関係団体と協働し、障害者福祉施策の充実を図る
- ◆市民の障害者への理解を高める教育や情報提供
- ◆障害者の自立と社会参加の促進

#### ●成果指標

### ○課題解決に向けた視点

#### 笑 1-3-1 地域で自立して暮らせるしくみづくりを進めます

障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送るには、一人ひとりの多様なニーズに応えられる体系的な生活支援の体制を充実させることが必要となります。

障害者の自立を促すため、ライフステージを通じて切れ目のない支援に努めるとともに、障害の状況に配慮した情報の提供を充実させます。

また、支援を必要とする障害者の住まいとして、グループホーム・ケアホームなどの少人数での居住形態へのニーズは高まっており、社会資源としての整備促進を支援していきます。

●市のデータ(図・表)、写真など

※必要に応じて掲載

#### 笑 1-3-2 障害者への一体的支援体制を整備します

年々障害者人口が増加する中、身近な地域で自分にあったサービスを選択し、適切な利用が受けられる障害者福祉の体制強化が必要となっています。

障害者福祉の充実を進め、障害者の自立と社会参加を促進するため、関係機関や社会福祉法人、NPO・団体、地域などと連携した、市内相談支援ネットワークの構築により、障害者のニーズやライフステージに応じたサービスの提供や地域生活への移行支援などを進めます。

#### 笑 1-3-3 障害者に対する理解の促進を図ります

障害者に対する市民の理解を高めることは、地域での障害者の自立の支援や障害者(児)を抱える家族の孤立化防止にもつながります。

市内小中学校での障害者の理解のための教育や交流会など、様々な機会を通じて市民の障害者とその家族への理解の向上のための取組を進めます。

## 笑1-4 社会保障制度の運営

### 施策の目標

市民の健康と生活の安定のため、社会保障制度の適正で健全な運営に努めます。

### 現状と課題

少子高齢化の進展や就業構造の変化、経済の長期低迷などにより、日本の社会保険制度の運営は大変厳しい状況となっています。

西東京市では、これまで、生活保護、国民健康保険、高齢者への医療保険、介護保険の健全な運営と保険料の徴収率向上に努めてきましたが、今後も社会経済情勢に対応した、より一層適正で健全な制度運営が求められています。

●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆各保険制度の健全な運営
- ◆制度改正に伴う市民への周知と適切な運営
- ◆生活保護対象者や被保護世帯の生活の安定と自立の強化

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 笑1-4-1 生活の安定と自立のための幅広い支援を行います

生活基盤の劣化などの影響で生活困窮者が増加し、特に稼働年齢世代の受給者の増大は、深刻な問題となっており、被保護世帯の生活の安定と自立・孤立化防止のための支援が必要です。

生活保護制度の適正な運営を進めるとともに生活保護対象者やその家族の自立を促すための支援を強化しつつ、一人ひとりが社会とつながることによる孤立化の防止などに努めます。

●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

### 笑1-4-2 国民健康保険制度の健全な運営を行います

社会状況や高齢化の進展などにより被保険者は増加しており、国民健康保険制度の健全な運営のためには、保険料の見直しや徴収率の向上による財政の改善が必要です。

市民への制度理解の啓発活動を推進するとともに、医療費の適正化に向けたさまざまな取組を進めます。

### 笑1-4-3 高齢者の医療保険制度の健全な運営を行います

今後想定される高齢者の医療保険制度の見直しに対する速やかな対応が必要となります。

制度の見直しに関する周知を図りつつ、加入者の理解を進め、制度の健全な運営を図ります。

### 笑1-4-4 介護保険制度の健全な運営を行います

高齢化の進展が加速する中で介護保険制度を取り巻く環境は大きく変化しています。市では、3年ごとに見直しが行われる介護保険事業計画に基づく適正な運営が必要です。

介護保険制度の健全な運営を進めつつ、介護サービスの充実に努めます。

## 笑1-5 暮らしの相談機能の充実

### 施策の目標

さまざまな相談事業を充実させ、安心して生活できるまちをめざします。

### 現状と課題

近年、インターネットや携帯端末などの情報技術の進展や普及により、市民を取り巻く消費環境は多様化してきており、子どもが消費被害にあう事例も増加しています。

西東京市では、これまで、消費、法律、税、不動産、行政関係などの暮らし全般の相談事業を行ってきました。特に、消費相談においては、東京都消費生活総合センターと連携した取組を行うとともに、消費者センターを中心として、消費者トラブルなどの講座の開催や、トラブル防止のための啓発事業、弁護士や相談員などによる各種相談事業を実施してきました。

今後は、多様化・複雑化が予測されるさまざまな分野の相談への対応や市民がトラブルに巻き込まれないための防止策の構築と迅速で分かりやすい情報提供が求められています。

#### ●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆講座事業・市民相談事業を通じた普及啓発活動
- ◆情報化の進展による新たな犯罪への対応
- ◆多様化・複雑化するさまざまな問題に対応した各種専門相談の実施

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 笑1-5-1 暮らしの相談の充実に努めます

思いもよらない問題が生じた時に、身近に相談することのできる場所があれば安心して生活することができます。

多様化したさまざまな問題の解決に向けての市民相談や専門相談などの暮らしの相談機能を充実させるとともに、分かりやすい情報の提供を進めます。

### 笑1-5-2 消費者トラブルの未然防止に努めます

情報化の進展などを背景に、近年市民を取り巻く消費環境は多様化しています。

市民の暮らしを守るためには、相談しやすい体制づくりを進め、関係機関との連携による消費相談の充実、分かりやすい情報の提供や啓発活動などを一体的に推進します。

また、消費者教育や消費生活講座を開催するなど、トラブルにあわないための取組を充実させます。

#### ●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

## 笑2-1 健康づくりの推進

### 施策の目標

だれもが健康で生活できるよう、乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。

### 現状と課題

健康維持の観点から、健康づくりに対する関心が高まっています。一方で医療費の増大は大きな問題となっており、健康寿命の延伸のための生活習慣病への支援や病気予防の対策が求められています。

西東京市では、市民が病気にならないための市民自身が行う健康づくりを支援するため、健康相談や栄養相談、健康診査、母子保健事業などを積極的に実施・推進するとともに、夜間・休日医療及び小児救急医療などについても、市内の医療機関・団体と連携し、医療体制を整えてきました。

今後は、市民自身が行う健康づくりの支援を強化・充実や生活習慣病や食育に関する情報提供、医療及び医療機関の情報提供、健康相談、健康教育、各種スポーツ教室などを行う必要があります。

また、住み慣れた地域で暮らし続けたいという高齢者のための在宅療養支援体制の構築や、健康づくり活動を行う団体との連携、ワクチン接種・がん検診受診率の向上に向けた対策などを図る必要があります。

●市のデータ（図・表）、写真  
※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆市民の自主的な健康づくりの支援
- ◆生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実
- ◆在宅療養支援体制の構築

●成果指標

## ○ 課題解決に向けた視点

### 笑2-1-1 市民の主体的な健康づくりを支援します

市民が健康に暮らしていくためには、市民の健康への関心を高めるとともに、市民自身が健康づくりに取り組むことが必要です。

市民の健康づくりを支援するための健康に関する意識啓発や情報提供を進めるとともに、病気と介護の予防のための相談や検診の充実、乳幼児とその保護者や妊産婦に対する相談や健康管理など、きめ細かな支援を進めます。

また、ワクチン接種・がん検診受診率の向上に向けた対策を強化することで、病気の予防に努めます。

市民の主体的な取組を支援するとともに、地域や活動団体への支援により、地域における健康づくりを進めます。

●市のデータ（図・表）、写真など  
※必要に応じて掲載

### 笑2-1-2 地域医療体制の整備・充実を図ります

医療へのニーズは多様化しており、市民が生活する身近な地域で安心して医療が受けられるような地域医療体制の強化が必要となっています。

日ごろから安心して相談や診察を受けることができるかかりつけ医の普及を進めます。

また、病気の治療と介護などの複合的なニーズも増加しており、保健・福祉・医療の連携による効果的なサポート体制を進めます。

今後は在宅療養へのニーズの高まりが見込まれており、支援に向けた検討を進めます。

また、高度医療、救急医療の機能を持つ地域の中核病院などへ広域的な連携による医療の充実について要請していきます。

## 笑2-2 高齢者の生きがいづくり

### 施策の目標

高齢者が地域のなかで生きがいをもって暮らせるまちをめざします。

### 現状と課題

高齢者が精神的にも肉体的にも健康に過ごすためには、生きがいをもつことが大切です。

西東京市では、高齢者の生きがいづくりを支援する取組として、健康づくりや介護予防及び就労、地域交流などに対する支援を行ってきました。しかし、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の増加により、高齢者と地域との関わりや交流が希薄化している実態があります。

今後は、高齢者が健康に暮らし、希望する活動や自己実現に取り組むことができる、学習と発表の機会、他世代との交流の機会、スポーツ・レクリエーション活動や社会貢献活動の機会の推進、就労支援の充実など、高齢者の社会参加と生きがいづくりのための取組や情報提供を積極的に行う必要があります。

また、世代間交流や就労・起業のための支援が必要です。

●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆社会参加と生きがいづくりのための情報提供と相談支援
- ◆交流の場の提供などのしくみづくり
- ◆就労支援を通じた生きがいづくり

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 笑2-2-1 高齢者の社会参加や就労への支援を推進します

高齢者が生きがいをもって元気に暮らしていくには、働くことや地域との交流を通じた社会参加が重要です。

高齢者のニーズに応じた多様な生きがいづくりを支援するため、地域や団体などと連携した活動を支えるしくみづくりや施設の利用促進、コミュニケーションの場づくりなどの地域交流を通じた社会参加を促進します。

また、高齢者の社会貢献活動を推進するため、ボランティア活動やNPO活動への参加を支援するとともに、地域において高齢者の知識や経験を地域に活かす機会の充実を進めます。

さらに、公共職業安定所（ハローワーク）やシルバー人材センターと連携し、働きたい高齢者への就労支援を進めます。

●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

## 笑2-3 障害者の社会参加の拡大

## 施策の目標

障害のある人が、地域のなかで、元気に生きがいをもって暮らせるまちをめざします。

## 現状と課題

障害者基本法の改正や障害者自立支援法の施行に伴い、障害者の自立と社会参加の促進が求められています。これを進めていくためには、障害者やその家族に対する市民の理解が不可欠です。

西東京市では、障害者が自立して地域で活動できるよう、障害者やその家族に関する市民への意識啓発、講演会などの地域イベント支援、社会参加のための移動サービス支援、スポーツ等参加支援、市役所での職場体験実習の実施など、障害者の社会参加及び就労を促進させるための取組を推進してきました。

今後は、地域との交流や社会参加を促進することや、地域や関係機関、NPO・団体、ハローワークなどと連携した地域生活支援事業を充実させ、地域の職場開拓を推進し、雇用・就労の機会の拡大に取り組むことが課題です。

## ●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

## 施策推進のためのキーワード

- ◆障害者に対する理解の促進
- ◆障害者の社会参加支援
- ◆障害者就労支援センターにおける地域の職場開拓

## ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

## 笑2-3-1 障害者の社会参加や就労への支援を推進します

障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が必要です。そのためには市民の障害者とその家族への理解が重要です。

障害者が市民に理解され、自立して地域で活動できるしくみづくりを進めるとともに、外出のための移動サービス支援やスポーツ・レクリエーションへの参加支援などのさまざまなサービスを進めます。

また、障害のある人の雇用・就労機会が拡大するよう、障害者支援センターや公共職業安定所（ハローワーク）、特別支援学校及び関係団体との連携を進めます。

制度の改正に関しては、障害者雇用促進法の改正、障害者優先調達促進法の施行への対応を進め、地域における生活を支援します。

## ●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載